

144.000

と

大いなる群衆

# 1SM174(1901年)

- 「144.000は誰かというような、靈的な助けにならない問題で論争するのは神のみ旨ではない。このことは間もなく、神に選ばれた人たちにはっきり分かるであろう」

黙示録7:1 この後、わたしは四人の御使が地の四すみに立っているのを見た。彼らは地の四方の風をひき止めて、地にも海にもすべての木にも、吹きつけないようにしていた。7:2 また、もうひとりの御使が、**生ける神の印**を持って、日の出る方から上って来るのを見た。彼は地と海とをそこなう権威を授かっている四人の御使にむかって、大声で叫んで言った、7:3「わたしたちの神の僕ら(servants of God)の額に、地と海と木とをそこなってはならない」。わたしたちが印をおしてしまふまでは7:4 わたしは**印をおされた者の数**を聞いたが、イスラエルの子らのすべての部族のうち、**印をおされた者は十四万四千人**であった。....

7:9 その後、わたしが見ていると、見よ、あらゆる国民、部族、民族、国語のうちから、数えきれないほどの大ぜいの群衆が、白い衣を身にまとい、しゅろの枝を手に持って、御座と小羊との前に立ち、....7:13 長老たちのひとりが、わたしにむかって言った、「この白い衣を身にまとっている人々は、だれか。また、どこからきたのか」。

7:14 わたしは彼に答えた、「わたしの主よ、それはあなたがご存じです」。すると、彼はわたしに言った、「彼らは大きな患難をとおってきた人たちであって、その衣を小羊の血で洗い、それを白くしたのである。7:15 それだから彼らは、神の御座の前におり、昼も夜もその聖所で神に仕えている(serve)のである。御座にいますかたは、彼らの上に幕屋を張って共に住まわれるであろう。7:16 彼らは、もはや飢えることがなく、かわくこともない。太陽も炎暑も、彼らを侵すことはない。7:17 御座の正面にいます小羊は彼らの牧者となって、いのちの水の泉に導いて下さるであろう。また神は、彼らの目から涙をことごとくぬぐいにとって下さるであろう」。



**黙示録14:1** なお、わたしが見ていると、見よ、小羊がシオンの山に立っていた。また、**十四万四千の人々**が小羊と共におり、その額に**小羊の名とその父の名**とが書かれていた。14:2 またわたしは、大水のとどろきのような、激しい雷鳴のような声が、天から出るのを聞いた。わたしの聞いたその声は、琴をひく人が立琴をひく音のようでもあった。14:3 彼らは、御座の前、四つの生き物と長老たちとの前で、**新しい歌を歌った**。この歌は、地からあがなわれた**十四万四千人**のほかは、だれも学ぶことができなかった。14:4 彼らは、女にふれたことのない者である。彼らは、**純潔な者**である。そして、**小羊の行く所へは、どこへでもついて行く**。彼らは、神と小羊とにささげられる**初穂**として、**人間の中からあがなわれた者**である。14:5 彼らの口には偽りがなく、彼らは**傷のない者**であった。

1. 144,000はシオンの山に立つ黙示録  
14:1節に彼らはシオンの山に小羊イエス  
と共に立っていると描写されている最後  
の民。

2. 144,000は、額に神の名、神の印  
を持つ最後の民

(7:1-4;14:1)



## 大争闘下12

- 「この争いの結果、全キリスト教世界は二種類の人々に分けられる。すなわち、神の戒めを守り、イエスを信じる信仰を持つ者と、獣とその像とを拝み、その刻印を受ける者である」大争闘下172。
- 教会の中で144.000が印され、出て行って大群衆を集めるとするなら、3種類の人がいることになる。

- 3. 144.000は、**生きて再臨を迎えるのに備え**のできた人びとである。

6:17 御怒りの大いなる日が、すでにきたのだ。だれが、その前に立つことができようか」。

再臨の前に誰が立つことが出来ようか？とう質問で終わっている。その前の節をみると、神と小羊の怒りの前に立つことのできない人たちが描写されている：

黙示録6:15 地の王たち、高官、千卒長、富める者、勇者、奴隷、自由人らはみな、ほら穴や山の岩かげに、身をかくした。

黙示録6:16 そして、山と岩とにむかって言った、「さあ、われわれをおおって、御座にいますかたの御顔と小羊の怒りとから、かくまってくれ。

一方、7:1-8には、再臨の時に立つことのできる人は誰かという6:17の質問に答えとして、144.000のことが描写されている。

7:9-17の**大いなる群衆**とは誰だろうか？

7:9 **大ぜいの群衆**も「御座と小羊との前に立っている」**144.000**も(14:1)「144.000の人々が小羊と共におり」とある別のグループなのか？ 終末時代に生きて主を迎える人々である。

4. 144.000は、全世界を支配する  
「獣」と戦う人々である。

黙示録13:4 また、龍がその権威を獣に与えたので、人々は龍を拝み、さらに、その獣を拝んで言った、「だれが、この獣に匹敵し得ようか。だれが、これと戦うことができようか」。

答は、14章の144.000である。



黙示録15:2 またわたしは、火のまじったガラスの海のよ  
うなものを見た。そして、このガラスの海のそばに、**獣と  
その像とその名の数字とにうち勝った人々**が、神の立琴  
を手にして立っているのを見た。

黙示録17:14 彼らは小羊に戦いをいどんでくるが、小羊は、  
主の主、王の王であるから、彼らにうち勝つ。また、**小羊と  
共にいる召された、選ばれた、忠実な者たちも、勝利を得  
る」**。

5. 144.000と大群衆

① 144.000と大群衆に関するいろいろな解釈があるが、これは「144.000と大群衆は同一。二つの側面から述べたもの」村上良夫。

黙示録の表現法。黙示録5:6,7「聞いた」「見た」。

② 7章の144.000は6:17の質問「御怒りの大いなる大いなる日がすでに来たのだ。だれがその前に立つことができようか」の答えである。

③ 黙示録7:13 長老たちのひとりが、わたしにむかって言った、「この白い衣を身にまとっている人々は、だれか。また、どこからきたのか」。

7:14 わたしは彼に答えた、「わたしの主よ、それはあなたがご存じです」。すると、彼はわたしに言った、「彼らは大きな患難をとおってきた人たちであって、その衣を小羊の血で洗い、それを白くしたのである。

7:15 それだから彼らは、神の御座の前におり、昼も夜もその聖所で神に仕えているのである。御座にいますかたは、彼らの上に幕屋を張って共に住まわれるであろう。

7:16 彼らは、もはや飢えることがなく、かわくこともない。太陽も炎暑も、彼らを侵すことはない(7つの災害)。

④ 神の前では、不公平はない！ファーストクラス、セカンドクラスはない。

ローマ3:22 それは、イエス・キリストを信じる信仰による神の義であって、すべて信じる人に与えられるものである。そこにはなんらの差別もない。



## 初代文集144

ある者は真理に接し、1歩1歩進んでいき、進む度に次に進む力が与えられた。しかし、今や、時はほとんど過ぎ去り、これまで数年かかって学んだことは、数か月で学ばなければならない。また、彼らは前に学んだ多くのことを捨て去り、多くのことを学ばなければならない。布告が出される時に、とその像の刻印を受けたくない者は、否、われわれは獣の制度を尊重しないと明言する決心を、今、しなければならない。

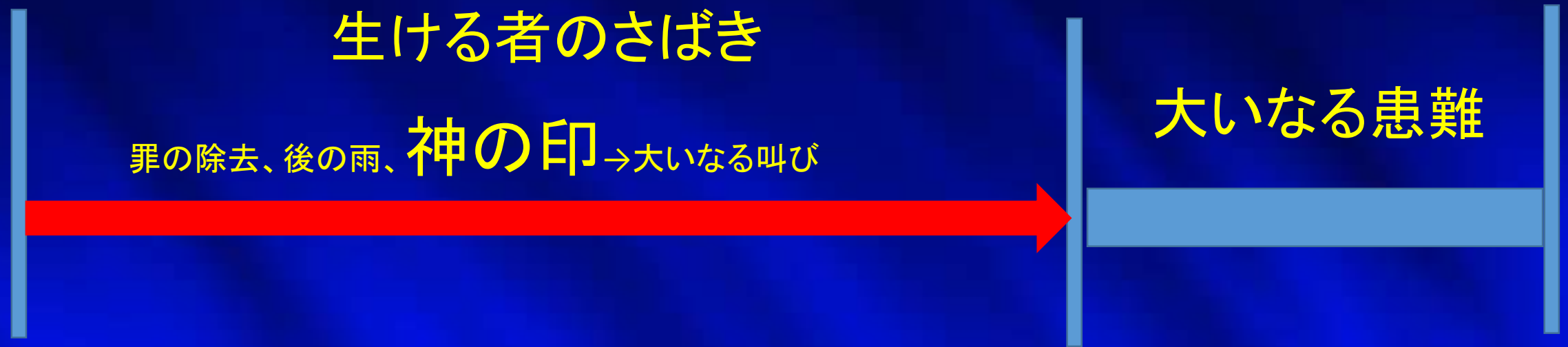
TM119

「神は人が地上の偉大な人物たちから学ぶことができることよりも多くの事を、神の聖霊によって一瞬のうちに教えることができるようになる」

RH 1889,7-2

「11時(5時)から入ってくる人たちがいるであろう。彼らは長い間真理を知っていた者たちと同じ報酬をうけるであろう」

# 6. 144,000が印されるのは恩恵期間が終了まで続く。



## 初代文集45

「わたしは天使たちが、天をあちこちと飛びまわっているのを見た。墨すみ入れを持った1人の天使が、地上から帰ってきて、自分の働きの終わったことを報告した。そこで**聖徒の数がかぞえられて封印された**。すると、それまで十戒の納められている箱の前で奉仕しておられたイエスが、香炉を投げ捨てられるのをわたしは見た。彼は両手をあげて、大きな声で、「**事は、すでに成った**」と言われた。

7. 1888年のメッセージにより、神は後の雨を注ぐ用意があった。144,000がアドベンチスト教会内から字義通りの144,000とするなら、当時30,000しか信者はいなかった。その中から144,000を生み出すことなど考えられない。

## 8. 144.000についての明確な証

(大争鬪下430)

「み座の前の、水晶のように透きとおった海、あの、火のまじったガラスの海—神の栄光でまばゆく輝いているところ—の上に、「**獣とその像とその名の数字とにうち勝った人々**が」集まっている。シオンの山の小羊とともに、人々の間から贖われた彼ら、すなわち、14万4千が、「**神の立琴を手にして**」立つのである。また、大水のとどろきのような、激しい雷鳴のような、「**琴をひく人が立琴をひく音**」のようなものが聞こえる。そして、彼らは、み座の前で**新しい歌**をうたう。



この歌は、14万4千以外のものは、だれも学ぶことができない。それは、モーセと小羊の歌、すなわち、救いの歌である。...なぜなら、それは彼らの体験—他のどの群れもしたことの無い体験—の歌だからである。「小羊の行く所へは、どこへでもついて行く。」彼らは、地上から、生きている者の中から、天に移された者たちで、「神と小羊とにささげられる初穂」とみなされる(黙示録 15:2、3、14:1—5)。「彼らは大きな患難をとおってきた人たちであって」、国が始まって以来かつてなかったほどの悩みの時を通過して後の刑罰がくだる中を、仲保者なしで立った」。

## 初代文集70

「144.000だけが、神殿に入ることができる」

※ 144.000と大群衆が同一であることは明瞭である。

※ 7章の文脈から見るとそうしか取れない。

## 初代文集70

「144.000だけが、神殿に入ることができる」

※ 144.000と大群衆が同一であることは明瞭である。

※ 7章の文脈から見るとそうしか取れない。

9. 聖書も証の書も144.000に関するの  
強調は、数よりも品性である。

7章のイスラエル12部族は、字義通りではない。144.000というのは、完全にイエスの品性を再現する**真のイスラエル**である。ローマ2:28 というのは、**外見上のユダヤ人がユダヤ人ではなく、**また、外見上の肉における割礼が割礼でもない。2:29 かえって、隠れたユダヤ人がユダヤ人であり、また、文字によらず**霊による心の割礼こそ割礼**であって、そのほまれは人からではなく、神から来るのである。

ガラテヤ3:28 もはや、**ユダヤ人もギリシヤ人もなく、奴隷も自由人もなく、男も女もない。あなたがたは皆、キリスト・イエスにあって一つだからである。**3:29 もしキリストのものであるなら、**あなたがたはアブラハムの子孫であり、約束による相続人**なのである。

なぜ、144.000？ バタリオン(Battalion=大隊)1,445などのような名称) B29とか...

イスラエル12部族、12使徒—黙示録21:12、14の名が書いてあった。。

$12 \times 12 = 144$ 。000は至聖所のサイズ、高さ長さ幅 =  $10 \times 10 \times 10$  キュビット = 1000

原語では、144は数字で1,000は言葉で(thousand=千)。黙示録14章で印され、神の名(品性)を持つ者たちを144.000で表現されている。黙示録13章で獣の数字は666とある。サタンは666しか味方がいないと考えられるだろうか？どちらも象徴的でなければならない。



10. 最後のテスト、生ける者のさばきが始まると、神の印を受けるか獣の刻印を受けるかどちらかなのである。

Christ our Righteousness 123

「その時、多くの者が神の民と共に立つ」

大争鬪下383

「諸勢力が結集して真理に反対するにもかかわらず、  
多くの者

が主の側に立つ」

スタディバイブル(新)269、伝道(英文)692

「その時以上に大きな力を伴って、ペンテコステの日の  
出来事

が繰り返される時を、私は熱心に切望している」。

2SM16

「真理への回心は、教会を驚かす速さでなされ、神のみ名のみがあがめられるであろう」

スタディバイブル(新)588「最後の時代に、初めて真理を聞く機会が与えられる人々が、多数救われるであろう」

Spaulding Collectiion 2.

「後の雨が夜半のように、10倍の力でやってくる」

# 11. 144.000は「初穂」と呼ばれている。

「後に続くものの代表と意味よりも神にささげられたもの、神に属するものということ」村上  
この初穂があって各時代の聖徒たちの大収穫がある。  
黙示録14:14～16

## まとめ:

- ① 生きて主を迎える人々
- ② 最後のテスト―「獣の刻印」か「神の印」を経験する人々
- ③ 最後の戦いに勝利する主の軍勢 雅歌6:10
- ③ 史上かつてない「大いなる患難」を通過する人々
- ④ 仲保者なしに「大いなる悩み」を耐え抜く罪のない人々(大争鬪下397)  
エペソ5:27、雅歌
- ⑤ どの群れも経験したことのない、新しい歌を歌う人々

## 12.生きて主を迎える144,000に入るか、 死んで主を迎えるか？

黙示録14:13 わたしは、天からの声がこう言うのを聞いた、「書きしるせ、『今から後、主にあって死ぬ死人はさいわいである』」。御霊も言う、「しかり、彼らはその労苦を解かれて休み、そのわざは彼らについていく」。

主にあって死ぬことは、一時の眠りである！ 輝かしい復活が我々の望みである。



ルカ 23:42

「イエスよ、あなたが御国の権威をもっておいでになる時には、わたしを思い出してください」。



エゼキエル33:11 あなたは彼らに言え、主なる神は言われる、わたしは生きている。わたしは**悪人の死を喜ばない**。むしろ悪人が、その道を離れて生きるのを喜ぶ。あなたがたは心を翻せ、心を翻してその悪しき道を離れよ。イスラエルの家よ、あなたは**どうして死んでよかろうか**。

伝道の書7:17「あなたはどうして、自分の時のこないのに、死んでよかろうか」。

エゼキエル18:31「**イスラエルの家よ、あなたがたはどうして死んでよかろうか**」。